



第30回ドイツ語圏大学日本語教育研究会シンポジウム

30. Symposium des Vereins „Japanisch an Hochschulen e. V.“

「ドイツ語圏日本語教育の今とこれから」

Thema: Japanischunterricht im deutschsprachigen Raum: Gegenwart und Zukunft

2024年3月1日(金)～3日(日)

IBZ München (Amalienstr. 38, 80799 München)

プログラム (2024年1月9日版)

第1日目 3月1日(金)

13:00-14:00 受付 Registrierung der Teilnehmerinnen und Teilnehmer

14:00-14:40 開会式 Eröffnung und Grußworte

ドイツ語圏大学日本語教育研究会会長 濱田朱美氏

Akemi Hamada, 1. Vorsitzende des Vereins „Japanisch an Hochschulen e. V.“ (JaH)

ミュンヘン大学アジア研究所所長 ガブリエーレ・フォークト氏

Prof. Dr. Gabriele Vogt, Direktorin des Departments für Asienstudien, LMU München

在ミュンヘン日本国総領事 別所健一氏

Kenichi Bessho, Generalkonsul des Japanischen Generalkonsulats München

ケルン日本文化会館館長 村田春文氏

Harufumi Murata, Direktor des Japanischen Kulturinstituts Köln

15:00-15:30 話題提供「JaH 設立の経緯」 大島ゲーリッシュ圭子

Vortrag und Diskussion: Keiko Oshima-Gerisch "Geschichte der Gründung von JaH"

15:30-18:00 グループ活動「機関紹介」 Gruppenaktivität "Vorstellung der Institutionen"

18:00-20:00 レセプション Empfang

第2日目 3月2日(土)

9:00-12:00 教師会パネル・ディスカッション「ドイツ語圏の日本語教育を見つめ直す」

Paneldiskussion mit Vereinen von Japanischlehrenden "Neue Perspektiven auf den Japanischunterricht im deutschsprachigen Raum"

パネリスト ドイツ語圏大学日本語教育研究会会長 濱田朱美氏

Akemi Hamada, 1. Vorsitzende des JaH

ドイツ VHS 日本語講師の会会長 小出和泉氏

Izumi Koide, Vorsitzende des Vereins zur Förderung des Japanisch-Unterrichts an VHS e.V.

ドイツ VHS 日本語講師の会会員 三輪聖氏

Sei Miwa, Mitglied des Vereins zur Förderung des Japanisch-Unterrichts an VHS e.V.

ドイツ語圏中等教育日本語教師会会長 アレクサンダー・グリースル氏

Alexander Grießl, 1. Vorsitzender des Vereins der Japanischlehrkräfte an weiterführenden Schulen im deutschsprachigen Raum e.V. (VJS)

オーストリア日本語教師会会長 マダドナーめぐみ氏

Megumi Maderdonner, Präsidentin des Verbandes der Japanisch-Lehrer in Österreich

スイス日本語教師の会会長 ミューレバツハ名倉千春氏

Chiharu Nagura-Mühlebach, Präsidentin des Vereins der Japanisch-Lehrkräfte in der Schweiz

コメンテーター 国際交流基金ケルン日本文化会館 日本上級専門家 東健太郎氏

Kentaro Azuma, Japanese-Language Senior Specialist des Japanischen Kulturinstituts Köln

パネル・ディスカッションの背景と目的

ドイツ語圏には国別に教師会があり、ドイツ国内はさらに、成人教育、中等教育、高等教育という機関別に教師会が分かれているが、お互いの間にはふだんあまり交流がない。その結果、この地域における日本語教育の全体像が見えにくくなっている。

そこで今回、これらの5つの教師会が設立から30年前後を迎えるのを好機として、それぞれの代表者が一堂に集まり、お互いの活動を紹介し合い、参加者とともに現状と課題について対話する場を設けることとした。

このパネル・ディスカッションの目的は、まず、ドイツ語圏の日本語教育の全体像と多様性を明らかにした上で、複数の教師会に共通する課題と、各地域・機関に固有の課題を整理することである。次に、そうした課題に対して、これから、複数の教師会がどのように連携・協力、あるいは、役割分担するのがよいかを探ることも重要な目的である。さらに、議論を通して、各教師会がそれぞれの地域・領域においてどんな役割を果たしているか、また、それが一人ひとりの教師にとってどんな意義を持っているか、ということがより深く理解できるようにしたいとも考えている。

12:00-14:00 昼休み

ドイツ語圏大学日本語教育研究会総会 (JaH 会員のみ)

14:00-16:30 会員の活動紹介 **Vorstellung von Aktivitäten der Mitglieder**

14:00-15:00 前半

①宮山麻里枝 (ミュンヘン工科大学) 「ミュンヘン工科大学言語センターにおける日本語コースの役割とチャレンジ」

Marie Miyayama-Sinz (TU München)

"Rollen und Herausforderungen der Japanischkurse am TUM Sprachenzentrum"

②小林由紀 (ラインマイン大学) 「ラインマイン大学経済学部国際経営学科—漢字の勉強を通して—」

Yuki Kobayashi (Hochschule Rheinmain)

"Hochschule Rheinmain, Wiesbaden Business School, International Management-anhand der Kanji-Liste-"

③Wiskamp 恵子 (ダルムシュタット工科大学) 「Moodle を使った授業——主体的・対話的学びに」

15:00-15:15 休憩

15:15-16:15 後半

④Claudia Kluge (ライプツィヒ大学) 「ライプチヒ大学の日本語教育に関する一般情報」

⑤佐藤杏奈 (トリアー大学) 「自律学習を支援する環境づくりへの試み」

⑥山守雄 (ハンブルク大学) 「ハンブルク大学に奉職して50年」

Takeshi Yamamori (Universität Hamburg)

"50 Jahre im Dienst an der Japanologie in Hamburg"

16:15-16:30 休憩

16:30-18:00 グループ活動「ふりかえり」

18:00-20:00 夕食会 (希望者)

第3日目 3月3日(日)

9:00-11:00 会員の実践・研究報告 Mitgliedervortrag

①安藤由夏(デュースブルク・エッセン大学)・杉田優子(デュースブルク・エッセン大学)・田村直子(ボン大学)

「Open Education Resources (OER) としての日本語中級文法の教材の可能性」

Yuka Ando (Universität Duisburg-Essen), Yuko Sugita (Universität Duisburg-Essen) & Naoko Tamura (Universität Bonn)

"Überlegungen zu Unterrichtsmaterialien für die japanische Grammatik der Mittelstufe als Open Education Resources (OER) im deutschsprachigen Raum"

②中川愛理・東健太郎(ケルン日本文化会館)・

「オンライン多読会の実践報告—オンライン多読ライブラリーを用いて」

Airi Nakagawa & Kentaro Azuma (Japanisches Kulturinstitut Köln)

"Online-Tadoku-Treffen unter Anwendung der Online Tadoku Library - Ein Praxisbericht"

③Annette Hansen(ボーフム大学)「機械翻訳などの人工知能ツールで自習を」

Annette Hansen (Ruhr-Universität Bochum)

"Selbstgesteuertes Lernen mit maschineller Übersetzung und künstlicher Intelligenz"

④真嶋潤子(大阪大学/国際交流基金関西国際センター)・Monika Unkel(ケルン大学)

「ドイツの中等教育の『日本語』科目の教材に関する実証研究—現状把握調査の結果から」

Junko Majima (Universität Osaka/The Japan Foundation, Japanese-Language Institute, Kansai) & Monika Unkel (Universität zu Köln)

11:00-11:15 休憩

11:15-12:00 シンポジウムの総括

12:00-12:30 閉会式 Abschluss

助成 国際交流基金ケルン日本文化会館

後援 在ミュンヘン日本国総領事館

Gefördert durch: Japanisches Kulturinstitut Köln (The Japan Foundation) und Japanisches Generalkonsulat München

